

超高齢社会のインテリアのあり方
(インテリアのチカラ発見)
～エイジング・インテリア

愛知淑徳大学 メディアプロデュース学部
松本ゼミ

公益社団法人インテリア産業協会主催「調査研究支援事業」対象

AGING INTERIOR

～超高齢社会のインテリアのあり方～

MATSUMOTO SEMI

超高齢社会のインテリアのあり方 ～エイジングインテリア～

私たちの国は、世界でも類を見ない超高齢社会に突入していることを知っていますか？

超高齢社会とは総人口に対して 65 歳以上の高齢者の人口割合が
21%を超えた社会をいいます。

2007 年に世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本においては、
2025 年には約 30%、2060 年に約 40%に達すると見られています。

また、高齢者の一人暮らし世帯の増加は著しく、
10 年後には約 37%に達すると見込まれています。

私たち松本ゼミでは超高齢社会において

高齢者ができるだけ自立しながらいきいきと生活をするためには？

介護の必要な高齢者だけでなく介護者も過ごしやすい空間とは？

今後のインテリアはどうあるべきかを予想、研究し

超高齢社会のインテリアのあり方を模索します。

愛知淑徳大学 メディアプロデュース学部
都市環境デザイン専修 松本ゼミ

INDEX

■ プロローグ	2
■ メンバー紹介	4
■ 目的	5
■ 調査研究活動の内容と結果	6-18
■ アンケートを振り返って	19-23
■ アンケート内容と結果	24-36
■ 今こそ、インテリアの子カラ	
東京大学高齢社会総合研究機構へゼミの取組みを報告	37-38
公開ゼミの模様 大学HPに掲載	39
インテリアの子カラ	40

【別添】エイジングインテリア～超高齢社会のインテリアのあり方（小冊子）
一年の活動をまとめました。

メンバー紹介

松本佳津 愛知淑徳大学メディアプロデュース学部 教授

松本ゼミ 3年12名

①照明	「男と女の照明学」 「子供のための照明学」 「高齢者の照明計画」	朝比奈千誉 石黒友理 杉野愛
②カラー	「色覚バリアフリーについて」 「医療施設のアートやカラーについて」 「おしゃれなバリアフリー」	井出彩央里 鈴木智 湯之上公乃
③街づくり	「多世代の家族が集まるインテリア」 「老人のこれから」 「街の色彩計画」	青山花帆 山口祐矢 吉見香穂
④インテリアアイテム	「アレルギーとインテリア」 「子供の成長とインテリア」 「高齢者を配慮したインテリア計画」	小川真里奈 佐藤みなみ 徳永千晶

高齢化は世界的な問題であり、そのスピードにおいては世界最速であるところの日本の対応の仕方が注目されています。在宅介護、高齢者の在宅での過ごし方は本人だけでなく、地域、自治体、財政、医療すべてに関係してくる問題です。

日本の10年後にフォーカスし、超高齢社会における在宅での介護や、高齢者にとっての住まいやインテリアの在り方を研究します。

これからの日本の人口推移からしても在宅介護や高齢者に寄り添うインテリアの在り方の構築が急務です。

学生と共に多角的な観点から模索したいと思い、それぞれ各自でテーマを持って調査・研究をいたしました。

高齢者の住まいに必要な活用すべきインテリアのあるべき姿をそれぞれのテーマから具体的に検討、研究、提案までを調査研究しています。

目的

高齢者の住まいに必要かつ活用すべきインテリアのあるべき姿を、多角的な観点から具体的に検討、研究、提案までを目標としています。また内容に合わせ、他大学との連携によりそれぞれの専門分野での相互学習を実現し、メーカーや関連業種との意見交換やコラボにより具体的な商品開発や試作に至るよう働きかけたいと考え実行いたしました。

本年度の成果物としては実験結果の公開および公開ゼミ、小冊子作成配布による啓蒙を行いました。

他大学との連携

インテリア関連
メーカーとの
意見交換コラボ

専門分野の視察

問題意識の自覚
アウトプット

超高齢社会のインテリアのあり方の啓蒙

実験・公開ゼミ

小冊子作成

調査研究活動の内容と結果

年間スケジュール

活動の個別事項	詳細事項	5月-6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全体的な動き			カラーユニバーサル研修	名市大病院視察見学		中間報告	病院視察見学	公開ゼミ		公開ゼミ
			トヨタ系福利厚生の実態	建築担当、ジェンダー、医療系との連携模索				小冊子作成	→	
			アンケートまとめ	アンケート実施						
				アンケート回収まとめ						
インテリアのチカラ①	アンケート		アンケート素案づくり	アンケート回収まとめ	実験設置	実験開始	公開ゼミ準備	公開ゼミ	→	公開ゼミ
照明	公開ゼミ					分析まとめ		まとめ		反省まとめ
	プレゼン			施設の照明分析				小冊子原稿	→	小冊子配布
	小冊子									
インテリアのチカラ②	アンケート		カラーユニバーサルヒアリング	施設カラー分析	実験設置	実験開始	公開ゼミ準備	公開ゼミ	→	公開ゼミ
カラー	公開ゼミ					分析まとめ		まとめ		反省まとめ
	プレゼン		アンケート素案づくり	アンケート回収まとめ				小冊子原稿	→	小冊子配布
	小冊子									
インテリアのチカラ③	アンケート		アンケート素案づくり	アンケート回収まとめ		ヒアリング調査	公開ゼミ準備	公開ゼミ	→	公開ゼミ
街づくり	公開ゼミ							まとめ		反省まとめ
	プレゼン			施設とコミュニティ				小冊子原稿	→	小冊子配布
	小冊子									
インテリアのチカラ④	アンケート		アンケート素案づくり	アンケート回収まとめ		現場見学	公開ゼミ準備	公開ゼミ		公開ゼミ
インテリアアイテムの効果的活用法	公開ゼミ							まとめ		反省まとめ
	プレゼン		物づくりメーカーの方より講	施設のインテリアアイテムの考				小冊子原稿		小冊子配布
	小冊子		和	察						

インテリアのチカラ発見

超高齢社会のインテリアのあり方
～エイジング・インテリア～

私たち愛知淑徳大学松本ゼミは、日本の抱える大きな問題である超高齢社会に「照明・カラー・建材・まちづくり」を結びつけ、私たちがこれからの日本にできることをチームで研究してきました。また、施設見学をはじめ、アンケート調査、実験も行ってきました。その活動から得たものを今回公開ゼミというかたちで発表させていただきます。

◆スケジュール
13:30～ 受付開始
14:00～ スタート ご挨拶
第一部 松本ゼミ 実験の発表
第二部 TOTO 高齢者セミナー
第三部 松本ゼミ 研究発表
15:45 終了予定

◆日時 2016年2月19日(金)
午後14時00分から(13時30分より受付開始)

◆会場 TOTOショールーム マルチスペースA

◆定員 50名 ※定員になり次第締め切ります

＜事前申し込み要＞
①お名前②メールアドレス③お住事(ご所属名)以上を明記の上申し込みください。
[E-mail] asu.mzemi@gmail.com
【送付先】松本ゼミ公開ゼミ担当
または、
までお申し込みください。



TOTOショールーム マルチスペースA
名古屋市中区東2丁目3-1
名古屋駅前小橋ビルディング81F

【地下鉄】伏見駅(東山線・鶴舞線)
4番出口を右方向に進む約3分
【バス】広小橋本町2-3停留所
伏見方向へ徒歩2分

駐車場は有料です。
できるだけ公共交通機関をご利用下さい。


 インテリア産業協会 2015年度助成事業

超高齢社会の住宅
愛知淑徳大生発表
名古屋で公開ゼミ
名古屋市中区のTOTO名古屋ショールームで十九日、愛知淑徳大メディアプロデュース学部の松本佳津教授の公開ゼミがあった。三年生十二人が、超高齢社会に備えた住宅の照明やバリアフリーなどについて研究成果を発表した。写真。市民ら約五十人も参加した。学生は「超

「超高齢社会のインテリアのあり方」をゼミのテーマに設定。病院や介護施設、メーカの見学やアンケートを実施して

きた。学生は発表で「住宅の家具や内装に配慮することで高齢者が過ごしやすくなる」などと述べた。



調査研究活動の内容と結果



7月28日

カラーユニバーサル研修 (トーヨーキッチンショールームにて)

- 【狙い】 カラーユニバーサルの理解 実情 実績を知る
- 【方法】 講師 CUDOカラーユニバーサル協会 富永さかえ氏を講師にカラーユニバーサルについて研修を依頼、現代の問題点や対策、展望について話を伺いました。
- 【結果】 見え方がこのように違い相当数の方がいることを理解。さらに高齢化が重なると見え方に個人差が出ることも踏まえインテリアや内装の計画に活かすことが重要だと認識しました。
- また医療機関など不特定多数の方が利用する場所においてはさらにグローバルな視点が必要ではないか、と気づき、例えば国によって色の感じ方が違うことや、サインの位置、カタチ、色など改めて見詰め直したい、など意欲的な調査につながりました。
- ★我々、インテリアコーディネーターにとって色はとても重要であることから、今の時代に即した色計画の基本を今一度見直したいと痛感しています。



トーヨーキッチン名古屋ショールーム セミナールームにて

調査研究活動の内容と結果



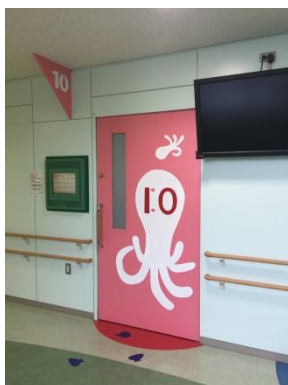
8月19日 名古屋市立大学病院 視察

- 【狙い】 カラーを活用した医療機関の例として視察。
- 【方法】 名古屋市立大学病院に依頼し視察
- 【結果】 特に小児病棟の壁面装飾やカーテン生地など、カラーに合わせセレクトされていました。この病院は大学病院なので比較的重度の患者さんが多く、お子様だけでなくご家族のケアという観点からもカラーを活用しているそうです。

効果として、患者様に好評なのはもちろん、仕事に従事する方の疲れ方が変わった、インテリアを軸に環境の見直しに意欲的になっているなど、お聞きすることが出来ました。

なにより体感することによって学生のインテリアに対する視野がここで大きく変わりました。

なぜ、気持ちが変わるのだろうか、なぜ疲れにくくなるのだろうか、ということをもっと深く理論的に掘り下げたい意欲、実験につながりました。



調査研究活動の内容と結果



11月4日 四国大人と子供の診療所 視察

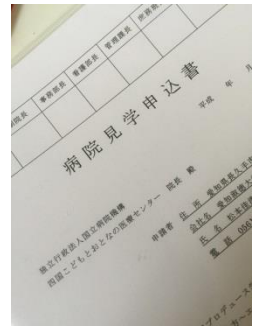
- 【狙い】 カラー・アートを活用した医療機関の例として視察。
- 【方法】 ゼミ旅行の予定地に近かったので打診し実現。アートディレクター森氏もレクチャー 実際の霊安室や病棟などまで視察させていただきました。
- 【結果】 アートを活用し医療機関の環境のあり方を、スタッフ・患者様・プロのクリエイター、デコレーターとの協働で実践されている国立の医療機関です。専任のアートディレクター森氏が常駐しいろんな側面からアート、色彩の活用により進化しています。

当初外壁の壁画デザインの依頼が、内部内装のカラーやデザインに波及したとのことで、インテリアが外部とのつながり、心や精神状態とも密接に関係しており、常に進化している実話を聞きながら視察でき、大変有意義でした。学生にとっては、このような仕事もあるのか、ということがすごく衝撃だったようです。

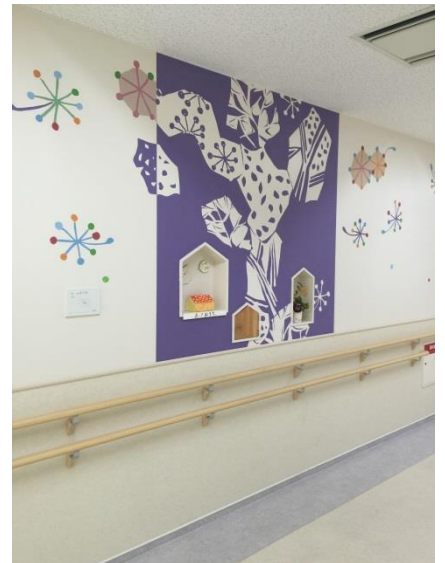
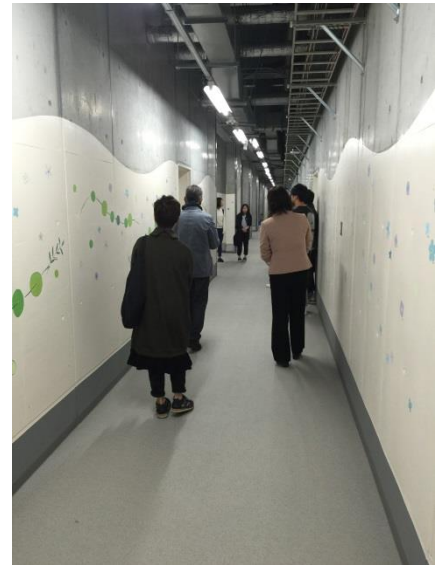
★インテリアコーディネーターのこれからの切り口の一つとしても考えていきたいと感じました。

今後、継続的に森氏とコンタクトをとりアート活用、カラー活用の事例調査、分析、活用の手引きにまで持っていきたいと考えている。





『患者様のお子様たちを活かす』色合いということでかなり計算されたトーンでまとめられた院内は大変心地よく空気も違って感じました。色のチカラを再認識しました。



調査研究活動の内容と結果



11月5日 自然住宅弾 本社見学 ライフスタイルとしての自然住宅

【狙い】 自然素材にこだわった住宅を供給している四国ナンバーワンの会社自然住宅 弾 様の本社に伺いました。こちらは本社自体が体感型ショールームになっており、実際に泊まることもできます。塗り壁（土佐しっくい）、無垢のフローリングに自然塗料を实际体感すること、こだわり処、实际のお客様の声などのレクチャーを受けライフスタイルも含め、住まい、インテリアは環境を整えることを体感し、人間にとって本当に大切なものは何かを考えるきっかけとしたいと考えました。

【方法】 松本の所属しているJAFICAメンバーでもあるので快く許可をいただきご協力いただきました。

【結果】 アレルギーとインテリアの関係は大変密接で、高齢者においては、ちょっとした刺激で不快な思いになることも多い。また臭いの問題などインテリアで解決できることも多く自然素材を活用しながら、心とカラダに優しい環境とは、という視点での体感学習となりました。

今後の日本には、本当に体のために良いものをきちんと提案していくことが必須であると痛感いたしました。

選択肢の一つとして、長いスパンで伝えつなげていくためにも今一度きちんと検証結果等情報をつかむ必要があると思います。学生にとっては体感できたことは非常に大きく、今後のインテリア感にも大きく影響を与えることになるかと思われます。



調査研究活動の内容と結果



世界ナンバーワンの企業、トヨタ。愛知県民の多くが何かしらトヨタ関連に従事しており、このトヨタの福利厚生のおかげからは愛知県民にとっては非常に気になるところ。今回、友人の大竹氏にコーディネートをお願いし、お骨折りくださって様々な施設を視察することが出来ました。

まず、トヨタ健保にて、全体像のレクチャーを受けました。トヨタの動向が他企業、中小企業の規範となるため、短・中・長期にわたり綿密に計画されています。社員一人一人が財産という視点に立ち、その家族をも含めた内容には驚かされました。

その後老人保健施設ジョイステイへ。

なかなか老人施設の内部隅々まで視察するチャンスはないものです。景観を取り入れ時代に合わせ、職員様たちの希望に沿って改装を繰り返し行われているようでした。インテリアの観点からでは、照明計画やカラー計画によってもっともっとよくなるように思われました。施設入居者も高齢化が勢いよく進んでおり要介護度によって、また痴呆の有無によって日々進化が必要なようでした。入居者だけでなく、介護職従事者の労働軽減も重要な要素、とのことでした。



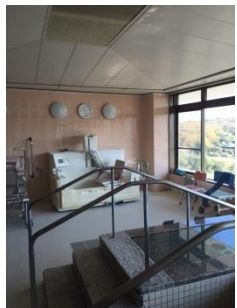
その後ウエルポへ。フォレスタヒルズという、豊田市の山間部、プールや森がある自然豊かな山あいにある施設である。結婚式場も併設されており、建物もゴージャスでここは最先端を実感できる場所でした。

42歳以上の社員は出勤扱いで一日この施設で健康チェックを受けることが出来るそうです。配偶者も一緒にだそうです。午前中、人間ドッグ、昼食はその結果を踏まえた食事指導も含めたランチ、その後は広大なフロアに多彩なプログラムから自身に合わせてチョイスし遊び感覚でチェックができるようになっています。家族も含め、運動や食事を見直してきちんと成果に結びつける術（すべ）が揃っていました。

衣食住、ライフスタイルをきちんと把握して対策を講じる大切さにあふれていました。

住の部分にはなかなか踏み込めないものですが、今後は合わせて診断できるようなものや、高齢化に合わせ、備えの意味での啓蒙する一つの場にはなりえらると思えます。職場が率先してライフスタイルに切り込む、攻めの福利厚生が最強の会社になっている、人財を大事にする、大きな目的を感じる事が出来ました。住の部分もぜひ、組みこんでみたいと強く感じました。

そういったプログラムの作成も今後考えていきたいと思えます。

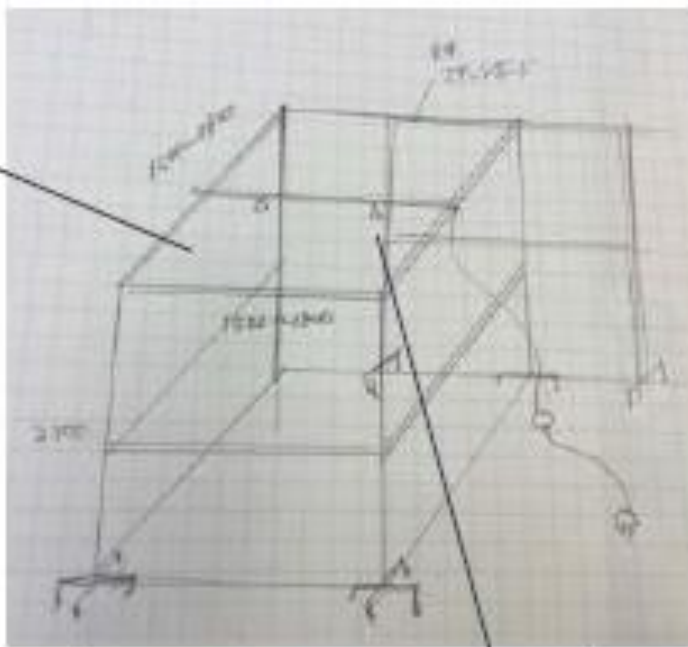


調査研究活動の内容と結果

12月 実験 【担当：石黒、佐藤、杉野、山口】

- 【狙い】 色についての実験 感じ方の違い調査
- 【方法】 実験期間：12月9日(水)～12月11日(金)（3日間）
実験室製作日：12月6日(日)10時～17時頃
学内公開ゼミで発表カラー実験報告

製作準備として、あらかじめ実験で使用する布を大塚屋まで下見に行き、製作日に購入いたしました。そのほかにも実験に必要なものを100均で買い、天井に使う段ボールをスーパーからもらい、製作しました。照明は2色用意。昼光色および、電球色。今回のメインとして昼光色の電球をダクトレールで設置し、天井は段ボールにクロスを貼って作りました。



調査研究活動の内容と結果

参加人数：50人（女性84%・男性16%）

実験内容： ①青色の布のとき・オレンジ色のとき
1分間経過をストップウォッチで測る。
（※文字は見えないように隠す）

→カラーによる時間体感差を計るため。

②青色の布のとき・オレンジ色のとき
コインを1分間で何枚立てることができるのか。

→カラーによる集中力を計るため。

③青色の範囲を示してもらおう。又、男性のみ、赤色の範囲も示してもらおう。



→人のカラーの感じ方の違いを知るため。又、男性の色弱を図るため。

実験結果： ① 1分間経過をストップウォッチで測る。

→青色の布のとき、1分8秒
→オレンジ色のとき、1分7秒

このことから、オレンジ色や暖色の方が、時間が長く感じると言われているが、青色のほうが1秒長いという逆の結果となりました。1分ではあまり変わらないのかもしれませんが。

② コインを1分間で何枚立てることができるのか。

→青色の布のとき、4.3枚
→オレンジ色のとき、3.6枚

このことから、青色は集中力を高めると言われているが、実験結果からその通りになった。

<製作風景>



調査研究活動の内容と結果

1月~2月 小冊子作成 (吉見、朝比奈、井出)

- 【狙い】 小冊子の作成を通し、日本社会の今、そして問題点、対策の研究を紹介周知させる、また危機感を持っていただくための啓蒙活動として、ご協力いただいた方々、関係者に配布する。活動が社会にどのように働きかけ、反応があるかを体感します。
- 【方法】 学生に企画から紙面構成、デザイン、データ作成まで一任した。富士凸版印刷山本社長、社員で先輩である神谷氏、色校正にはビューティーパフェ大西氏の助言も得、公開ゼミでの配布を目標に1000部製作しました。
- 【結果】 インテリアから考える超高齢社会の切り口として、各々多彩な内容となり、啓蒙の入門として好評です。各自の一年の結果の集積とし、最初の一步としては非常に良い出来だと思っています。内容をさらに進め、提案まで持っているよう、各自思いを新たにしています。



調査研究活動の内容と結果



1月17日 学内 公開ゼミ【担当：青山、小川】

- 【狙い】 公開ゼミに向けて自身の研究内容を発表してみました。
- 【方法】 愛知淑徳大学プレゼンルームにて 数名の先生方が見守る中発表
- 【結果】 内容、発表の仕方、順番などプレゼンすべてを見直すこととなりました。公開ゼミは、一般の方に聞いてもらうものなのでもう一度構築し直しとしました。

2月19日 愛知淑徳大学×TOTO 公開ゼミ TOTOショールーム【担当：湯之上、鈴木、徳永】

- 【狙い】 伝わること、啓蒙すること、知ってもらうこと。初めての公開ゼミでの狙いはずばりこれ。そのためにはどのようにすればよいか、学生自ら考えてもらうようにしました。
- 【方法】 学生自ら伝えることにこだわってすべての作業を一任した。まず、会場での打ち合わせ。TOTO様のご意向を汲みながらスケジュール構築。フライヤーのデザインからすべて学生にお任せし構築させた。
- 【結果】 50人の多くの方に来ていただき、中日新聞や、学内の広報企画室も取材に来ていただいた。また後日、賃貸住宅新聞からも問い合わせがあった。

インテリア産業協会のメルマガに載せていただいたので、予想を上回りキャンセル待ちが出たほどの集客となった。関心の高さがうかがえ、定期的な開催が必要、啓蒙を続けることに意義があると感じました。

参加された皆様、ありがとうございました。

アンケートを振り返って

2015.7/1～9/30 実施 総答者数 447 名 有効回答数 234

アンケートはゼミ生12名各自のテーマの中から1～3出し、全27問としました。回答所要時間は試験的にやった際は30分程度かかりましたが、アンケートの問題の出し方によっては、回答がしにくいものや、手間取った、という声も聞かれ、意外と時間がかかり、途中でやめた方がかなり多かったようでした。

アンケートサイトでは、最後まで答えないとカウントされず、せっかくアクセス数は多かったのに、有効回答が低く残念な結果となった。アンケートを出す際に注意を払わなければいけないことが具体的に見えた、という結果となった。それでも、多くの方にご協力をいただいたので、それなりの結果を得ることが出来たと思われま

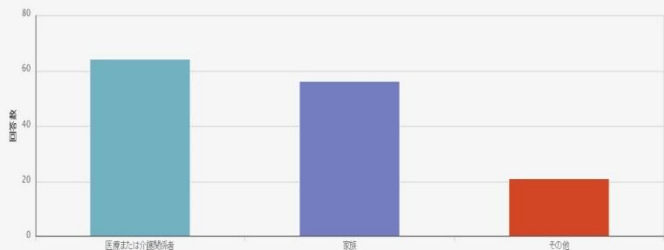
各自の結果は小冊子にて分析しているのでそちらを参照してください。

【質問3-1-1】

老後、誰に面倒を見てもらいたいですか？

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 医療または介護関係者 | 45.39% |
| 2 家族 | 39.72% |
| 3 その他 | 14.89% |
| 合計 | 100% (有効回答数141) |

【質問3-1-1】 老後の面倒は誰に見てもらいたいですか？



その他と答えた方

- 一人暮らし ●出来るだけ自立していたい
- まだ考えられない ●施設入所
- 自分で出来ない日常的なことは、
かわいい介護のロボット
- 誰にも世話になりたくない ●想像できない ●自活できるところまで、自活します
- 考えていない ●できる限り自分で自立した生活を送りたい ●子供に迷惑かけたくない
- 家族に迷惑をかけたくないから ●友人 ●家族に迷惑をかけたくない ●施設
- シェアハウスなど ●まだ分かりません。出来る限り自立を心がけます。
- 独自 ●ナース ●自分の面倒は自分でみたい

	回答数	回答%
1 医療または介護関係者	64	45.39%
2 家族	56	39.72%
3 その他	21	14.89%
合計	141	100%

意外にも他人、もしくはその他も多かったです。

内訳をみると、親しい家族や子供には迷惑をかけたくない、自立していたいという思いが強く表れています。その気持ちを健康寿命の延伸、インテリアに結び付けて提案できないか可能性を探ってみたいと思います。

アンケートを振り返って

質問22より実際の介護に関する質問を掲載しました。

【質問22】身近な介護のキーワード

ということで、①てすり ②バリアフリー ③スロープ となり手すりは50%、一番身近な介護キーワードとして定着している表れであると思われます。**今後の住宅には快適な手すりのあり方がスタンダードになる**ということだと思われるので、今一度、手すりのバリエーション、注意事項を喚起したいと考えます。

【質問23】介護の不便な点

●導線計画 ●介護される人の心のケア●身内の家族で対応しきれない部分があるようです、

●ゆったりとした時間のゆとり●ベッド ●認知症になったときどうする●段差●まだまだ街の中には段差が多かったり、階段しかないところ があったりする●マスクをしていてもおいが気になる●用便●段差が多い●部屋や体臭●便のにおい●段差が多いこと●家族の安らぎがない ●階段が多くスロープがすくないと思う●したことはないが、女性1人での介護は大変だと思う(カ 仕事なので) ●出入口が狭いこと。●階段の段数が少ない、急すぎる→緩やかにすべき、踊り場が必要。 ●高齢者がくらしやすいかどうか グループホームなど高齢者受入施設が少ない人手不足

こちらでは住宅で対応できることが多くインテリアの見直しの際、気を付けるべきものだと思います。大きく

●階段・段差 ●におい ●出入口開口部

3つにわけられます。より高齢者に寄り添った形状寸法を見極めていきたいと思っています。

介護の不便な点にはインテリアに関連するキーワードがずらり

狭さ	人を支える為の手摺の箇所など
今はしていません	下の世話
お手洗い・風呂の介助	お互いの意思の疎通
介護用具が高い	人手が足りない
力仕事	お金がたらないと思うこと
仕事との両立に不安	いたる所のちょっとした段差
段差、手摺がない	人手
寝室と洗面、風呂、トイレが遠いのは不便	行動範囲が狭まるため、室内での生活環境を
トイレが遠い、段差がある、狭いなど	変更しなければならない事。
住宅の階段の上り降り	お風呂、しもの世話

アンケートを振り返って

【質問24】身近な介護用品

ナンバーワンは車いす、続いてつえ、そしてトイレ。ここから見えてくるのは**自立**というキーワードです。特に足腰が大事だとわかっているのです。筋肉の80%は下半身にあります。ここで一歩進んで、**住まいの中に足腰を鍛えるインテリアを何か一つとり入れる**、というのはいかがでしょうか。

【質問25】将来あったら便利だと思う介護用品

ここでの回答から見えてくるのもやはり**自立**。ロボットや機械の、電子的な力を借りながらも自立してたい欲求の強さが回答に出ている。

中日新聞 | CHUNICHI Web

天気 | ウーマン | 環境 | 住まい | 就職・転職 | 進学・教育 | 旅行 | 相談 | 囲碁・将棋 | 暮らし | 医療 | イベント

教育総合サイト
中日進学ナビ
CHUNICHI Education Web Site

愛知県・岐阜県・三重県・石川県など中部地区の大学の最新情報や、進学に関立つニュースが満載。中日新聞が進学をサポートします。

ホーム | 大学情報・資料請求・願書請求 | オープンキャンパス | 入試カレンダー | いまどキッ大学生 | 大学院

中部の大学関連ニュース

超高齢社会の住宅 愛知淑徳大生発表 名古屋で公開ゼミ **NEW**

名古屋市中区のTOTO名古屋ショールームで19日、愛知淑徳大メディアプロデュース学部の松本佳津教授の公開ゼミがあった。3年生12人が、超高齢社会に備えた住宅の照明やバリアフリーなどについて研究成果を発表した。

市民ら約50人も参加した。学生は「超高齢社会のインテリアのあり方」をゼミのテーマに設定。病院や介護施設、メーカーのショールームなどの見学やアンケートを実施してきた。学生は発表で「住宅の家具や内装に配慮することで高齢者が過ごしやすい」などと述べた。

(2016年2月21日 中日新聞朝刊県内総合版より)

[2016.02.21]

[一覧を見る](#)

● ページの先頭へ戻る



センター試験 大学入試センター試験
2016年1月の問題と解答を掲載しています。

保育士 保育士をめざす人のための大学・短期大学特集
保育士の仕事とは？

大学院 中部の私立大学大学院
社会で高い能力を発揮する大学院での学び

教師 保育士 教師・保育士特集
大学選びが先生になる夢への一歩！

AO入試 AO入試特集
AO入試ってどんなもの？
きちんと知って活用しよう

中日新聞WEB版にも掲載

【質問26】 超高齢社会について

現在の状況がわかっているのは **1/3 という結果**に。まだまだ啓蒙、自覚が出来ていない表れといえます。これは推測ですが、仮に%は知っててもそれらが具体的に自身の生活にどのように響くか、の実感はないのではと思われます。その結果から、住まいの対応がどうしても後手後手に回ってしまうのが現状であることが理解できます。

正しい情報を周知し、それに伴って、環境を整える、という視点にたったの啓蒙活動はインテリアに携わるものすべて、インテリア界全体で取り組むべきことの一つであると考えられます。

【質問27】 住まいに取り入れたいもの

①医療機関との連携 ②自立のための補助機能 ③寝室に近いトイレ

がベスト3です。これらは今でも十分準備可能でもあります。①はまさにIT活用によって実現はすぐそこまで来ているように思います。医療機関、住民双方の歩み寄りが必要ですが、率先して町ぐるみ、集合住宅ぐるみで考えるべきだと思います。

②の補助機能、やはりキーワードは自立です。自立を促す具体的なアイテムをインテリアコーディネーターおすすめ品として出してみたいと思います。やはりその際、以下にも介護、というよりよりおしゃれで素敵、生活に彩りを添えるようなものでありたいと思います。

	回答選択肢	回答数	回答%
1	 病院や施設との連携が可能な住まい	53	37.86%
2	 自立を促す手すりなどの補助機能	22	15.71%
3	 介助のしやすい浴室	14	10.00%
4	 人が遊びにきやすいリビング	13	9.29%
5	 寝たり起きたりが楽な寝具	13	9.29%
6	 分かりやすい収納レイアウト	7	5.00%
7	 四季の移ろいが感じられる庭	6	4.29%
8	 インターネットやITを活用できる家	4	2.86%
9	 掃除のしやすいキッチン	4	2.86%
10	 寝室に高いトイレ	2	1.43%
11	エコを取り入れたスマートハウス機能	1	0.71%
12	その他	1	0.71%
合計		140	100%



【提案例】医療機関との連携も視野に入れてのコミュニティ提案例

スモールアクティブコミュニティ

市民レベルの小さくてフレキシブルなコミュニティ

シェアスペース、シェアハウスなど近所の方が集まるスペースが欲しい
お茶を飲んだり お話したり 情報交換の場として
勉強会の場として 地域に核となるコミュニティ

もともとクリニックだったところをコミュニティとして利用



アンケート内容及び結果

超高齢社会のインテリアのあり方 松本ゼミ アンケート 2015.7/1~9/30 実施

総答者数 447 名
有効回答数 234

【解答者属性について】

●年代

① 40代 64 28.44%	② 30代 59 26.22%	③ 50代 40 17.78%
④ 20代 25 11.11%	⑤ 60代 23 10.22%	⑥ 70代 11 4.89%
⑦ 80代 2 0.89%	⑧ 90代以上 1 0.44%	

合計 225 100%

●男女比 ①女 184 81.78% ②男 41 18.22%

合計 225 100%

●既婚未婚 ①既婚 179 79.20% ②未婚 47 20.80%

合計 226 100%

●住居形態 ①持ち家(戸建) 143 62.72% ②賃貸 52 22.81%
③持ち家(集合住宅) 33 14.47% 合計 228 100%

▼住居エリア

刈谷市 安城市 名古屋市 東海市 阿久比町 春日井市 稲沢市 大府市 豊田市
岐阜市 千葉県千葉市 静岡県浜松市

質問1 判別できない、または見にくいと感じる色はあり

ますか？

今のところなし	グレー	白色
ネイビーブルーとチャコール	緑色	黒
濃い紺	青緑	黄と黄緑
黄色	紺色	ブルーグレーとベージュ

質問2 普段の生活の中で、色を見間違えた経験はありますか？(例、買った洋服の色が後から見ると思っていた色と違う、黒だと思っていたら紺だった、など)

1 ない 175 78.12	ある 49 21.88	合計 224 100
----------------	-------------	------------

質問3-1 老後の面倒は誰に見てもらいたいですか？

① 家族	102 44.35
② 医療または介護職関係者	100 43.48
③ その他	28 12.17
合計	230 100

その他内訳

一人暮らし

出来るだけ自立したい

まだ考えられない 施設入

所

自分で出来ない日常的なことは、かわいい介護のロボット

誰にも世話になりたくない

想像できない

自活できるところまで、自活します 考えて

いない できる限り自分で自立した生活を

送りたい 子供に迷惑かけたくない 家族

に迷惑をかけたくないから

友人

質問 3-2

①と答えた方 家族の誰でしょうか

a 配偶者 b 子供 c 子供の配偶者 d 親戚 e その他()

未定 時と場合による できる限り自分で 誰にもしてもらいたくない

質問 4-1

人と食事や会話をする際に、照明は大切だと感じますか？

① 大切だと思う 210 90.13

② 大切だと思わない 3 1.29%

③ 気にした事がない 20 8.58 合計 233 100

質問 4-2

①大切であると思うとこたえた方、食事や会話の際の照明はどのような色が適切だと思いますか？ [例:青色の照明など] また、その色の照明の際、相手との親密さや何か心的に感じるものはありますか？ 同性の場合と異性の場合でお答えください。

(色味:)

異性()

同性()

①食事や会話の際の照明の色	②異性の場合	②同性の場合
赤色	特になし	信頼できる友人なら楽しさを感じる
暖色系	性の意識がない	
暖色	落ち着く	落ち着く
白色光		
電球色		

①食事や会話の際の照明の色	②異性の場合	②同性の場合
白	白	白
	エメラルド	ブルー
黄色、オレンジ	黄色	黄色
	オレンジ系	明るいブルー系
暖色	暖かさ	暖かさ
橙色	橙色	橙色
明るい黄、太陽	少しクール色	太陽色
暖色系	特になし	特になし
明るい緑青色	淡いピンク系	青色
白	紫	
青色	オレンジ	青色
黄	なし	なし
暖色系	薄暗い	暖かい
オレンジ	落ち着く	楽しい
だいたい色	あったかい感じ	あったかい感じ
暖色	暖色	暖色
白系	安心感	安心感
明るい色		

①食事や会話の際の照明の色	②異性の場合	②同性の場合
黄色		

質問5 素敵だと感じるお店や場所があったら教えてください。

みずず屋本舗 上田市

シーン 浜松市上島 カト

ニー 天白区

小空カフェ 山羊のいる喫茶店

ラピアンタ 阿久比町

ヤマザキマザック美術館 名古屋市東区

森の響、喫茶店で窓の明るさを取り入れ適度に室内も

明るいところ、目に入る緑が多いところ 日進市

豊田市民芸館

カントリークリスマス 岡崎市

カフェプロスペール 西友安城店

カフェヨシノ 長久手市

ウエストという喫茶店 六本木(国立)

インテリア関連ショールームなど

イグレックアサイ 栄

depotcafe みよし市三好町善件 22

sakura cafe 三重県

ペコリ 本郷駅近く

アトリエ・イリヤスロー 名古屋市 八事 海

シエ ブラウザ 多治見

味と 可児市

現在のお住まいの家に関する質問です。

質問6

家の中で家族がよく集まる場所はどこですか。

① リビング 150 65.22

② ダイニング 73 31.74

③ その他 5 217 ワンルーム 掘りごたつ(ダイニング・リビング兼用)

茶の間 リビング 家族は有りません 外リビング(ウッドデッキ&アウトドアキッチン)

リビング 二階のリビング的な所

④ 寝室 2 0.87 合計

230 100

質問7 現住居において不便だと感じるものはありますか。「はい」と答えた方は不便な点もお答えください。

① はい 118 51.75 (不

便な点)

キッチン

リビングが狭い

トイレが1階にあり、2階にも必要と思う
 広すぎる
 間仕切り
 すべて
 家が3階建てのこと
 部屋が狭い 家電が
 壊れている 風通りが
 よくない 公共交通
 機関

光が少ない、
 買い物に車が必要
 収納スペースが少ない 公共交通機関
 台所が狭い。1人でしか作業がしにくい
 台所が土間 ごちゃごちゃして狭い。
 二世帯はくつろげない
 寝室が2Fにある
 床に段差がある
 風呂の配管がすぐ詰まる

2階に行かないと光が少ない、冬になると太陽

②いいえ 110 48.25 合計 228 100

質問8 現在の住んでいる家で照明が適切でないと感じる場所はどこですか。

① その他	55	32.74		
② リビング	37	22.02		
③ 寝室	34	20.24		
④ 玄関	23	13.69		
⑤ 浴室	19	11.31		
合計		168	100	

質問9-1

今までに身の回りのバリアフリーや、改修に伴って変更した壁・床材などで、デザインが合わないなどの違和感を感じたことはありますか。

① いいえ 188 85.45 ②はい 32 14.55 合計 220 100 **質問**

9-2

①と答えた方、それは、どのような部分でしたか。(例:祖母の家のトイレの手摺、改修後の壁紙など)

明るい空間にしたいと床を明るめにしたら汚れが目立つといわれた。

改修後の壁紙、
 風呂場のタイル色
 壁紙
 部屋の扉

元々の床の材質を新たに張り替えた床の材質(同じ木なのに)

照明が思ったより明るすぎ トイレとか、改修後はあまり出来上がりに満足しな
 かった、センスがないデザイン 家具の色 テイスト
 洗面所の床材

質問 10

リタイア後に住まいをリフォームやリノベーションをするならどの部分にこだわりたいですか？

①	リビング	78	3529	②	キッチン	68	3077		
③	ベッドルーム	28	1267	④	ダイニング 他	24	1086	⑤	その 他
	合計	221	100						

その他の内

訳 お風呂

風呂、トイレ 簡素化

My room

趣味の部

屋 子供

部屋

浴室やキッチントイレ等の水まわり

和室を作りたい

質問 11-1 現在何世代の家族と共に暮らして

いますか？

①	1 世代	148	6491	②	2 世代	60	2632	③	3 世代以上	20	877
	合計	228	100								

質問 11-2 ペットについて、お答

えください。

ペットが、①	ペットがない	156	69.03	②	ペットがいる	70	30.97	合計	226	100
--------	--------	-----	-------	---	--------	----	-------	----	-----	-----

質問 12 照明についてお聞きます。何種類か用途に合わせた照明を使い分けて生活されて
 いますか？

(例) 寝る前の照明はオレンジ色の照明を使う、リラックスしたい時は間接照明を使う、等。

1	はい	143	65.00	2	いいえ	77	35.00	合計	220	100
---	----	-----	-------	---	-----	----	-------	----	-----	-----

質問 13 照明について、経験したことのある事故はあり

ますか。 1 事故を経験したことはない 137 71.73

2 その他 19 9.95

3	階段の段差が見えづらく、踏み外す	17	8.90
4	照明を取り替える際に転倒	10	5.24
5	明るい場所から暗い場所に入った際、周りが見えなくなり転倒	8	4.19
合計		191	100

照明を交換した際カバーをつけられなくなった。取り替えの際に蛍光灯を落として割った トイレの照明器具がきちんとはまっていなかったため、落ちて割れた。照明の設置場に手が届かないため無理をして手を痛めた

事故ではないが、脱衣所の天井の照明や廊下の天井の照明は高くはずしにくいので、自分一人では交換できない。

色がバラバラ 子どもが投げたおもちゃが照明器具に当たり破片が飛び散った ガラスのカバーが落下した 照明スタンドが倒れてシェードが破損した。怪我はなかった。蛍光灯を落として割れた 天井のダウンライトを取り換える際に落として破損しガラスで怪我をした 特にありません。

ないが外部のコーナー部分は一方が明るくても90度曲がれば暗闇。建物全体の明るさ設計は大切。

お子様がいらっしゃる方に質問です。

質問 14-1

お子様が勉強する際に、照明や光で工夫していることはありますか？もしくは、ご自身が子供の頃、勉強や作業する際、照明や光で工夫していたことがありますか？

① はい 89 54.94 ② いいえ 73 45.06 合計 162 100

質問 14-2 どんなことを工夫していますか？

(例)右利きのため、斜めから光を当てるようにしている。子供部屋は天窗を使って上から採光し、部屋を明るくいる、等。

手暗がりにならず、かつ明るすぎないこと。右利きのため、斜めから光があたるようにしている。子供 部屋は、天窗を使って上から採光し部屋を明るくしている 年齢に応じてスタンド照明の選択 細かくスイッチを作り(トップライト) 手元の明るさ重視 明るく 机の配置で対応 手元が暗くならないように注意する。手元の照明と部屋の

照明の明るさを変化させることができるようにした。 光の入る部屋にし、照明の調節もできます 右利き 左側に窓の机 斜めから光を当て影ができないようにしている 影にならないようにできるだけ明るく 机の上の照明と、部屋の照明の両方を利用している 手元照明 白熱灯ではなく蛍光灯にしている

勉強する際の明るさ、手元をかげにしない
間接照明ではなく、なるべく白熱灯で。
部屋を明るく保つ

本や勉強会するときは手元に照明をつける
勉強机は他の収納家具に変える 手元を
明るく

質問 15-1 子どもの成長に合わせ、使う家具や部屋のスペースの使い方を必要があると
感じますか。

① はい 150 9259 ② いいえ 12 741 合計 162 100

質問 15-1

①と答えた方、今までに実践したこと、または、実践したいことがあれば教えてください。

(例:子どもが大きくなったので、使えなくなった家具を買い替えたい。など)

都度、必要なものを置く。洗面所の鏡の位置。中学生になった頃、部屋
を建て増しをした

子供が小さいうちは小学生用、中学生の頃は IKEA のシンプルでカラフルな家具を使いました。

勉強机を買い替えた

ベッドを買い替えたい 家族全員の寝る部屋をタタミを床に変

え、リビングをつなげた 年齢に応じて家具を替えていきたい

まだない 高校生になった頃、妹と部屋を分けてもらって一人のスペースができてうれしかったので自分の子供にもある程度の年齢
になったら 一人部屋を与えるべきだと思う

子供が使わなくなったものを処分したい 家を建て替えたり、子供は
子供で家を建てる。家具は処方する。3世代同居の為、常にいろ

いろと移動買い替え。その都度合った家具に買い替える 小さい

時期は勉強部屋のみプライベートにしていた

部屋を2つにした 本棚を処分し、ドレッサーを置いてあげたい

コドモの背の高さに合わせたものを使う

子供の成長に合わせて、子供部屋を共同から個室へ変える

乳児から幼児になるにつれ部屋の家具をへらした 勉強机など

の処分

質問 16 子どもの成長に合わせて、使う家具やその配置を変える必要があると感
じますか

①家具を変える必要がある

① 配置を変える必要がある

- ② どちらも変える必要がある
- ③ どちらも必要ない

質問 17

自分自身またはお子様がアレルギーにかかっていますか。(食物アレルギーは除く)かかっている場合何か対処していますか。

- ① かかっていない 120 64.17
- ② かかっている 67 35.83
- 合計 187 100

薬を飲んでいる(アレグラ) 絨毯、ソファはなく、すべて木製掃除	目薬、飲み薬 金属アレルギーアークセは不使用 汗が出たらすぐシャワーをあびる 軽い花粉アレルギーがある、マスク や目薬で対応している。	花粉の時期の掃除方法に気を付けている マメな掃除 まめにそうじする、喚起する、動物を飼わないなど 薬、水素水 ペットを飼わない
なし		
薬		
クリームを塗布 空気清浄機を置く	医者 ハウスダスト、ダニ	

質問 18 住環境でアレルギーが改善できるとしたらやってみたいと思いますか？

- ① やってみたい 131 71.20
- ② どちらでもない 49 26.63
- ③ やりたくない 4 2.17
- 計 184 100

これからに関する質問です。

質問 19

リタイア後に一番やりたいことは何でしょうか？

- ① 旅行など今までできなかったことにチャレンジ 148 65.49
- ② 住まいや身の回りを整える 48 21.24
- ③ 健康管理を見直す 21 9.29
- ④ その他 9 3.98
- 合計 226 100

質問 20 老後の備えに関していつごろから考えるべきだと思いますか？

- ① 40代 72 31.72
- ② 50代 72 31.72
- ③ 30代 42 18.50
- ④ 20代 21 9.25
- ⑤ 60代以降 20 8.81
- 合計 227 100

質問 21 リタイア後に新しい街で暮らすならどのような街がよいですか？具体的に思いつく場合は街名も教えてください。

- ① 住み慣れた街で暮らし続ける 103 45.37

- ② 交通の便が良い都市部 56 24.67
 - ③ 豊かな自然あふれる田舎 34 14.98
 - ④ ハワイなどのリゾート地 28 12.33
 - ⑤ 昼の他 6 2.64
- 計 227 100

【具体的な町の名前】

刈谷市	名古屋市 自分が東京出身なので何故か都会住みたい。便利で	いますんでいる名古屋市か、実家のある半田市
安城市	何でもすぐで きそう。	滋賀県
栄 デパートの近く	アメリカ、カリフォルニア	名古屋
大府市 大曾	実家近辺(京都) 現在の川崎市多摩区	海外
根、千種	東京都心	福井
名古屋市の天白区か緑区		
京都、東京		
豊田市		

介護に関する質問です。介護のご経験がない方でももし介護をするなら、という前提でお答えください。

質問 22

1 番身近だと感じる住まいの福祉・介護に関する物は何ですか。

- ① 手すり 114 50.89 ② バリアフリー 86 38.39 ③ スロープ 20 8.93
- ④ その他 4 1.79 合計 224 100

質問 23 介護において、どのような点において不便を感じていますか？

導線計画 介護されり人の心のケア、身内の家族で対応しきれない部分がある、ゆったりとした時間のゆとり	段差が多い 部屋や体臭、便のにおい 段差が多いこと 家族の安らぎがない 階段が多く、スロープが少ないと思う
ベッド 認知症になったときどうするか 段差	したことはないが、女性 1 人での介護は大変だと思う(力仕事なので) 出入り口が狭いこと。階段の段数が少ない、急すぎる→ 緩やかにすべき、踊り場が必要。高齢者がくらしやすいかどうか グループホームなど高齢者受入施設が少ない 人手不足
わかりません まだまだ街の中には段差が多かったり、階段しかないところ があったりする	
マスクをしていてもにおいが気になる	
用便	

質問 24 一番身近だと感じる介護用品は

何ですか。 つえ

杖 車いす、歩行器、ポータブルトイレ、持ちやすい食器またはスプーン	車いす つえ 車いす	車いす おむつ おむつ
箸 自力で移動できる車椅子	おむつ	車いす
など 杖	簡易トイレ	車いす
おむつ	電動いす 手すり 車椅子？	紙おむつ

質問 25 将来、あったら便利だと思う介護用品は何

でしょうか。

車いす	電動車いす 階段リフトで登り降りしたい 寝たきりの人が少しでも	特になし 出来るだけ自立度が保てるような もの 階段の上り降り
ロボット	動ける自 動ベッドなど 車いす、	りを助けるロボット 特になし
ロボット(話相手)	パラマウントベッド、腰掛 けシャワ	ロボットアーム 自動寝返り補助
わかりません 電	一台、車庫からスムーズに 脇玄	機能つきベッド
動歩行器 車い	関ホールへ。	
す 電動ベット	オムツ替え お	
話すロボット(多分配偶者が亡くな	むつ、車いす	
ったらひとりになるので)		

超高齢社会について

質問 26 超高齢社会

について

現在 65 歳以上の人口の割合がどのくらいかご存知ですか？

- ① 25%くらい 118 53.39 ②それ以上 70 31.67 ③20%くらい 32 14.48
④ 0%くらい 1 0.45 合計 221 100

質問 27 超高齢社会における住まいにとりいれたいものを3つだけ選んでください。

- | | | |
|-------------------------|----------------------|-------------------|
| 1. わかりやすい収納レイアウト | 4. 寝室に近いトイレ | 7. 四季の移ろいを感じられる庭 |
| 2. エコを取り入れたスマートハウス機能 | 5. 自立を促す手すりなどの補助機能 | 8. 寝たり起きたりが楽な寝具 |
| 3. 掃除のしやすいキッチン | 6. 介助のしやすい浴室 | 9. 人が遊びに来やすいリビング |
| 10. インターネットや IT を活用できる家 | 11. 病院や施設との連携が可能な住まい | 12. 【ご自由にお書きください】 |

- 1 病院や施設との連携が可能な住まい 64 27.83
- 2 自立を促す手すりなどの補助機能 32 13.91
- 3 寝室に近いトイレ 28 12.17
- 4 介助のしやすい浴室 22 9.57
- 5 分かりやすい収納レイアウト 19 8.26
- 6 人が遊びにしやすいリビング 16 6.96
- 7 寝たり起きたりが楽な寝具 14 6.09
- 8 掃除のしやすいキッチン 12 5.22
- 9 四季の移ろいを感じられる庭 10 4.35
- 10 エコを取り入れたスマートハウス機能 7 3.04
- 11 インターネットや IT を活用できる家 4 1.74
- 12 その他

お疲れ様でした。ありがとうございました。

今こそ、インテリアのチカラ

●2016.2.22 ジェロントロジー東京大学高齢社会総合研究機構へ ゼミの取組みを報告

日本最先端でジェロントロジー【老人学】高齢社会について研究しており、今回機構長でありこの研究のリーダーである大方教授にご報告をさせていただきました。研究には参考にさせていただいている参考書籍も多く、ぜひ、インテリア関係者には一読をおすすめします。

高齢社会の問題は日本が、世界最速で進んでおり、他にお手本がないこともあり、いまだ手探りの部分が多いものです。

高齢者自身のデータがまだあまり集まらないという側面もあるそうです。ユニバーサルデザインの基本は高齢者でなく半分は身障者を対象としているため、まだまだ詰めなくてはいけないそうです。公共施設でのバリアフリーなどは徹底されたが住宅はまだまだこれからだといえます。

新築が減り、既存の住居のリノベーションについて、もっともっと症例が必要であり、その情報を共有する仕組みも必要で、何よりこれからの理想的な社会の構築に【共創】がひとつのキーワードになることは間違いないでしょう。

インテリアからこの問題に切り込んでいるのもまだごく少数で表に出てきていません。今こそ、インテリアコーディネーターの経験やノウハウを集め分析し周知する、そんなネットワークが望まれているように感じました。つまり、

今こそ、インテリアのチカラ、といえます。

今年一年、現状把握と問題点のあぶり出し、

おぼろげながら必要なものがわかりましたが、

まだ具体的な提案には至っておらず

引き続き研究を続けていきたいと思っています。

ありがとうございました。

AGING INTERIOR

～超高齢社会のインテリアのあり方～

出版物



書名：2030年 超高齢未来
著者：東京大学高齢社会総合研究機構
出版社：東洋経済新報社
発売日：2010年11月26日
ISBN：9784492223116



書名：2030年超高齢未来 破綻を防ぐ10のプラン
著者：東京大学ジェロントロジー・コンソーシアム
出版社：東洋経済新報社
発売日：2012年8月31日
ISBN：9784492223253



書名：東大がつくった高齢社会の教科書
著者：東京大学高齢社会総合研究機構
出版社：ベネッセコーポレーション
発売日：2013年3月25日
ISBN：978-4828866208



書名：地域包括ケアのすすめ 在宅医療推進のための多職種連携の試み
編者：東京大学高齢社会総合研究機構
出版社：東京大学出版会
発売日：2014年4月28日
ISBN：978-4130604109
東京大学出版会のご注文用紙は[こちら](#)をご覧ください (PDF 926KB)

やりの創出や気持ちのいい介護。 超高齢社会においてインテリアができることを、学生たちが模索し、発表しました。

超高齢社会の日本は、2025年問題や人口減少など、多くの解決すべき課題を抱えています。その課題に対し、インテリアにできることを考え、追究し、考察していくのが、メディアプロデュース学部 松本ゼミです。2月19日（金）には、松本ゼミの3年生12名が「超高齢社会のインテリアのあり方～エイジング・インテリア」と題した公開ゼミを、TOTOショールームマルチスペースAで開催しました。

1年間続けて取り組んだゼミのプロジェクトの発表の場となった。今回の公開ゼミは、3つのパートに分かれており、第一部は松本ゼミが先に行った実証研究の結果報告。第二部はTOTOショールームの職員による「高齢者セミナー」。第三部は松本ゼミの学生が一人ひとり個別におこなった研究の成果発表がおこなわれました。

第一部の実証研究の結果報告では、会場から実証参加者を呼び、実際に実証を再現しました。研究のテーマは、「1. 暖色と寒色の違いによる集中力の高低等」、「2. 暖色と寒色の違いによる時間経過の認知の差」の2つ。1の実験では「寒色のほうが、暖色より集中力が高まること」を示し、2の実験では「寒色のほうが、暖色より時間経過が早く感じることを」示しました。



第三部では学生一人ひとり個別、建築、匂づくり、カラーの4つをテーマに「超高齢社会におけるインテリアのあり方」を模索した研究結果を発表。医療施設におけるカラーデザインの研究やシックハウス症候群を題材にした研究発表、リタイア後の生活について調査した研究など、さまざまな視点からインテリアのあり方について考察しました。研究の軸となった、500人超の入り客を対象におこなったアンケートの結果をていねいに分析、紹介し、会場からは発表が終わるたびに温かい拍手が湧き起こりました。



最後はゼミの担当教授である松本花津先生があいさつ、「学生の発表を聞いて、インテリアには子カがあるだけでなく、愛情や思いやりがあることを感じました。インテリアの可能性をこれから深く調べて欲しいと、期待しています」と学生たちにエールを送りました。大学の最終学年を迎え、4年間の偉大な成果となる卒業研究などが待てる学生たちにとって、自らの研究成果を一般の方に発表する機会、次のステップへの大きな一歩となったことでしょう。



AGING INTERIOR

～超高齢社会のインテリアのあり方～

『超高齢社会のインテリアのあり方 ～エイジングインテリア』

インテリアにはチカラがあります。

『インテリアのチカラ』を軸に考えることが、
住まい、街づくり、人生の豊かさに繋がります。
アイデアと知恵を駆使し10年先へフォーカスしています。

じっくりと見つめること。

触れてみること。

体感してみること。

当たり前なものに「なぜ？」と問いかけ、
不可能なものには「どうしたら」と、可能性を探ります。



2016.2.19 TOTO公開ゼミにて